



新年を迎えて



一般財団法人日本ITU協会
理事長

よしだ ひろし
吉田 博史

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

2025年は、大阪・関西万博が4月13日から10月13日まで開催され、総来場者数は2900万人を突破し、成功裏に終了しました。成功に導いていただきました贊助会員企業の皆様のご尽力に敬意を表します。また、万博会期中の5月13日から18日にはITUによる創設160周年を記念した特別展示が開催されました。世界を見渡しますと、第二次世界大戦後の秩序が挑戦を受けており、大きな変革の時期を迎えています。中東における紛争も、ロシアによるウクライナ侵攻も和平に向けた動きはありますが、まだ予断を許さない状況です。我が国においても、外交、防衛の難しいかじ取りが求められています。経済安全保障の重要性が議論され、その中でも国際標準の戦略的活用の重要性が増しています。

2025年の当協会に関わる国際電気通信連合（ITU）関連の会合を振り返りますと、6月24日から7月3日に、神戸市六甲アイランドの神戸ファッションマートにて第49回ITU-R Working Party 5D会合が開催され、59か国の主管庁、81のセクタメンバーより、現地参加338名（会議登録者数606名）でIMT2030に向けた様々な課題について議論されました。当協会はこの会合の事務局となり、レセプションや大阪万博を視察するエクスカーションの運営を支援しました。

ICT関連では、3月3日から6日にスペインのバルセロナでMobile World Congress (MWC-25) が開催され、当協会は日本パビリオンを運営する事務局となりました。主に中小企業やスタートアップ企業で、これから海外展開を図ろうとする企業の日本パビリオンにおける展示をサポートし、海外の企業への技術アピールや商談が進められました。

また、9月には、アラブ首長国連邦のドバイでUPU万国郵便大会議が開催され、現地で日本代表団の事務局支援

を実施しました。同会議では、日本の日時政彦氏が国際事務局長に再選され、日本が管理理事会及び郵便業務理事会の理事国に選出されました。

当協会の行事では、5月16日に「世界情報社会・電気通信日のつどい式典」を京王プラザホテルにて開催しました。式典では2002年から23年間ITU-R SG5 WP5Aの議長を務め、ITU-R等における標準化に貢献した吉野仁氏（ソフトバンク）が総務大臣賞を受賞されました。また、AIについての学界の議論をリードするとともに、産学官による議論の場の醸成や連携に尽力された原山優子氏（国立研究開発法人情報通信研究機構 GPAI東京専門家支援センター長）が特別賞を受賞され、記念講演を行いました。さらに、12名が功績賞を、14名と連盟1組が奨励賞を受賞されました。誠におめでとうございます。

研修関連では、12月2日から9日にかけて、東京・新宿にて、デジタルディバイドの解消に向けたネットワーク計画に関するAPT研修の事務局として、9か国から10名の研修生を受け入れました。

本年のITU関連会合については、7月に、APG 27-3会合が札幌で開催されます。また11月にはカタールのドーハで全権委員会議PP-26が開催されます。当協会は、これまでの経験を基に、ITUやAPTの会合やイベントに関して、関係者各位と協力しながら、積極的に対応してまいります。

当協会では本年も、オンライン月刊誌『ITUジャーナル』や英文季刊誌『New Breeze』の発行、有識者を講師にお招きしての研究会開催、ITU関連業務に携わる人たちが横断的に集まるITU会合情報連絡会の開催等を行っていきます。日本ITU協会が日本政府、贊助会員各位とITU・APTとの連携・交流の場となるよう、更なる努力を続けてまいり所存です。

本年の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



第49回ITU-R Working Party 5D会合



MWC-25 日本パビリオン